

# 10 生産性向上に関する施策（10-2）

## ■スマート農業導入加速化推進事業【新規】

【令和7年度予算額 150,750千円】

財源（国庫：26,719千円）（9補124,031千円）注

### <対策のポイント>

AIやICT等の先端技術を活用して、労働力不足の解消や、超省力・高品質生産等を可能にするスマート農業を推進するため、農業者の理解促進やデータ活用を指導する人材育成、新技術開発の支援のほか、地域基幹作物等におけるスマート農業活用の実証活動など、現地への実装化を進める取組を支援する。

### <政策目標>

令和9年度までのスマート農業機器の導入件数：4,500件

※ 未来創造ビジョン体系 10 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

※ マニフェスト項目 2 「稼ぐ力」の向上 <農林水産業の「稼ぐ力」の向上>

### <事業の内容>

#### 1 目的（必要性、背景）

スマート農業の導入を推進するため、農業者の理解促進やデータ活用を指導する人材育成、新技術開発の支援のほか、地域基幹作物等におけるスマート農業活用の実証活動などの取組を支援します。

また、農業支援サービス事業体の育成・確保を図るため、サービスの提供に必要なスマート農業機械等の導入を支援します。

#### 2 事業主体

県、協議会、農業者等

#### 3 事業内容

(1) 農業者の理解促進 【予算額：1,516千円】

・かごしまスマートファーマー育成セミナーの開催

(2) 体制づくり 【予算額：2,264千円】

・スマート農業活用指導者育成セミナーの開催  
 ・かごしまスマート農業先端技術開発支援 等

(3) 実装に向けた取組展開 【予算額：22,939千円】

・地域基幹作物等スマート化モデル産地育成実証活動の支援  
 ・スマート農業技術の活用に向けた広域的な実証活動の展開  
 ・県内各地における実証活動の支援  
 ・農業支援サービス事業緊急拡大支援対策（9補124,031千円）

#### 4 事業期間

注）「稼ぐ力」を向上するスマート農業導入促進事業  
 令和7～9年度（3か年）

### <事業の流れ>

県

協議会等

(3)の一部 協議会、農業者等 (1),(2),(3)の一部は県実施

### <事業イメージ>

#### ①農業者の理解促進

・スマートファーマー育成セミナーの開催



#### ②体制づくり

・指導者の育成  
 ・スマート農業先端技術の開発

実装に向けた農業者の意欲醸成

実装に向けた指導者の的確な助言

#### ③実装に向けた取組展開

活用する技術(例)



・モデル産地における導入効果確認と機運の醸成

・費用対効果の検証  
 ・スマート農業の導入促進 等

経営体の規模に応じたスマート機器の導入、農業支援サービス事業体の育成・確保を推進

スマート農業を各地域で実装

### 【お問い合わせ先】

鹿児島県農政部 経営技術課 普及企画係 (099-286-3148)

参加費  
無料

事前申込制

地域の特産 × スマート農業  
地域連携事例から学ぶ、導入効果と現場課題  
「稼げる農業」実践セミナー

# かごしまスマートファーマー 育成セミナー 受講生募集

(研修対象者は鹿児島県在住農業者及び市町村農政担当者に限る)

本セミナーは、大隅・薩摩・種子島の3つの地域別コースで構成されており、各地域の特産物・気候・経営課題に応じたスマート農業の導入効果や課題について、地域連携事例を通じて学ぶ実践的な内容となっています。また、本セミナーは鹿児島県が主催し、各地域コース2回構成です。

県・市町村・JAなど関係機関が協働しながら、地域ぐるみの普及体制を育成し、地域一体となったスマート農業の推進を目指しています。

1

大隅  
コース

施設園芸・畑作など

2

薩摩  
コース

茶・青果など

3

種子島  
コース

甘藷・果樹・花卉など



センサー・環境制御・自動化・データ経営などの導入効果を、具体的な事例を通じて理解できます。



翌日から実践できるスマート農業のノウハウや、地域の優良事例を自らの経営に応用できる内容です。

スマート農業に取り組み、省力化・高収量・コスト削減等を目指す方は、ぜひお申し込みください。

1回目 申込締切：1/12（月）

2回目 申込締切：2/13（金）

申込方法

- 1 右記QRコード又はURLより参加申込み
- 2 必要事項を入力し、地域コースを選択&送信
- 3 申込み内容がご指定のアドレスに届きます

申込フォームはこちら

<https://forms.gle/QWBNCtwVTnwxpYQz9>



# 3つの地域別コース プログラム

- どのコースも全2回を学ぶことで学習効果が高まりますので、原則通しでの受講を推奨します。
- 台風などの気象災害により日時が変更となる場合があります

<b>1回目</b>	<b>共通 オンラインコース</b> 申込締切 1/12(月)	農業DX・スマート農業の現在位置と実装のリアル 情報武装の必要性／匠の技の知財化／ブランド形成／GAP・工程管理／スマート農業人材の役割について学びます。
令和7年1月14日(水) オンライン開催 13:30～16:30		県外の先進優良事例から各地域に適した導入方法を学びます。 ゲストスピーカー：滋賀県 (有)フクラファーム 代表取締役 福原 悠平様 大規模経営におけるスマート農業導入 ～経営改善・課題・地域と連携した運営体制づくり
<b>2回目</b>	<b>集合講義</b> 先進事例紹介＋グループワーク 申込締切 2/13(金)	全国トップレベルの経営事例から将来像を学び、グループワークで自経営に落とし込みます。
<b>1. 大隅コース</b> 対象作物：施設園芸・畑作など 定員：20名		施設園芸・畑作産地としてのの特性を踏まえ、省力化や品質安定を目指した取組の効果と、経営判断につなげる際の工夫・課題を整理します。
日時・場所		内容
令和7年2月18日(水) 13:30～16:30 大隅アリーナ21		ゲストスピーカー：(株)ロボネットコミュニケーションズ 相談役 鹿児島県農業教育新興会 理事 元JA鹿児島きもつき 松崎 俊昭様 さつまいも産地の地域連携型スマート農業 ～導入の効果・課題・今後の展望
<b>2. 薩摩コース</b> 対象作物：茶・青果など 定員：20名		茶・青果産地としてのの特性を踏まえ、品質・ブランド化に向けた現場の工夫と工程管理、そこから得られた学びと課題を共有します。
日時・場所		内容
令和7年2月19日(水) 13:30～16:30 かごしま県民交流センター(カクイクス交流センター) 小研修室2		ゲストスピーカー：宮崎県(有)新福青果 代表取締役 新福 朗様 意識改革から始めるスマート農業 ～導入効果の実際と、現場で見えてきた課題・次の一手
<b>3. 種子島コース</b> 対象作物：甘藷・果樹・花卉など 定員：20名		離島特有の気象・物流条件の中で、多品目経営を支える工夫と、行政・JA・地域連携による補完の仕組みを共有します。
日時・場所		内容
令和7年2月20日(木) 13:30～16:30 西之表市民会館201会議室		ゲストスピーカー：さつまいもカンパニー(株) 代表取締役 橋本 亜友樹様 地域特性を生かしたスマート農業導入 ～作業標準化と地域ぐるみの協働モデル

## メイン講師



### 渡邊 智之(わたなべ ともゆき)

スマートアグリコンサルタンツ合同会社(SAC) 代表/CEO  
総務省 地域情報化アドバイザー/DXアドバイザー

元農林水産省大臣官房 スマート農業推進係長(2012～2015年) / 一般社団法人日本農業情報システム協会(JAISA) 理事・創設者  
大手IT企業での農業ソリューション開発から農林水産省でのスマート農業政策立案まで、幅広い経験を持つ。  
全国各地でのスマート農業推進に携わり、現場に根ざした実践的な指導を行っている。

## 主催

主催：鹿児島県農政部経営技術課  
企画・運営：スマートアグリコンサルタンツ合同会社

## お問い合わせ

スマートアグリコンサルタンツ合同会社

✉ [contact@smartagri.co.jp](mailto:contact@smartagri.co.jp)



# 地域基幹作物等スマート化モデル産地育成実証活動の支援

予算額：10,000千円（委託費）

- 地域基幹作物等スマート化の方向性が「見える」化し，関係機関の活動・役割分担が明確化
- 地域基幹作物等のスマート農機一貫作業体系等が整理され，労力等削減効果が明確化
- 地域基幹作物等に有効なスマート農業機械等の導入・活用が進展

## 実施地域・対象作物（計画中）

実証地域	対象作物	内 容
出水	紅甘夏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドローン防除による作業労力軽減対策の検討</li> <li>・低樹高化，樹形改造による薬剤散布効果の確認</li> </ul>
指宿	飼料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドローン等を活用した水田立毛播種による超省力化検証</li> <li>・衛星センシングを活用した地力判定による施肥体系の実証</li> </ul>
肝属	ピーマン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土質が異なる地域ごとのピーマンの土壌水分センサー活用の実証</li> <li>・環境制御技術高度化の支援</li> </ul>
種子島	さとうきび 水稲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動操舵システムを活用したビレットプランタによる植付作業省力効果の検証</li> <li>・衛星センシングを活用した可変施肥による肥料低減技術の検証</li> </ul>

## 活用する技術(例)



衛星画像データ×AI



高速2段階所施肥機



環境制御装置



生産管理システム



直進アシストトラクタ



ビレットプランタ